

古河市 市民ワークショップ

結果報告書



令和5年10月

古河市

目次

1. 市民ワークショップの実施概要.....	1
(1) 実施概要	1
①目的.....	1
②ワークショップ参加者の募集方法.....	1
③開催日時とテーマ.....	1
(2) 当日の進め方.....	2
2. 市民ワークショップの結果概要.....	3
(1) 第1回ワークショップ.....	3
(1) -① 第1班の意見概要	3
(1) -② 第2班の意見概要	6
(1) -③ 第3班の意見概要	9
(2) 第2回ワークショップ.....	13
(2) -① 第1班の意見概要	13
(2) -② 第2班の意見概要	16
(2) -③ 第3班の意見概要	19
(3) 第3回ワークショップ.....	23
(3) -① 第1班の意見概要	23
(3) -② 第2班の意見概要	26
(3) -③ 第3班の意見概要	29
3. ワークショップの資料.....	33

1. 市民ワークショップの実施概要

(1) 実施概要

①目的

この市民ワークショップは、第2次古河市総合計画第Ⅲ期基本計画（計画期間：令和6年度～9年度）の策定にあたり、市民の皆様のご意見やアイデアをうかがい、今後のまちづくりに活かしていくために開催しました。

「第Ⅲ期基本計画」は、古河市の将来や未来の目標を実現、目標を実現するため、まちづくりの方向性をまとめた市政運営の基本指針のことで、市民協働、子育て・教育、福祉、文化・スポーツ、産業、道路・交通、環境保全、防災・防犯など、皆さんが住む古河市の未来に向けた取組を決める重要な計画です。

②ワークショップ参加者の募集方法

古河市在住の方から無作為に3,500人を抽出し、参加募集案内を送付しました。当日は延べ37人が参加しました。

③開催日時とテーマ

このワークショップは全3回開催し、各回で異なるメインテーマを中心に話し合いを進めました。

開催回	開催日時	テーマ
第1回	令和5年7月29日（土） 13:30～16:00	シティプロモーション・移住定住
第2回	令和5年8月26日（土） 13:30～16:00	しごと・情報発信・DX
第3回	令和5年9月24日（日） 13:30～16:00	地域福祉・教育・学習

※会場はいずれも中央公民館



(2) 当日の進め方

参加者全員でオリエンテーションとして、まず、古河市総合計画の説明および古河市ブランド戦略の動画視聴を行った後、本日の進め方を説明しました。次に、テーマに関する意見交換をグループごとに実施し、最後に、話し合いの結果を全体に共有しました。なお、グループは性別や年代を考慮して1グループ4人～5人で編成しました。

■各回開催内容

時間目安	内 容
～13:30	■ 受付・ご案内
13:30～ 13:45	(1) 開会・オリエンテーション (約15分) ❖ 古河市総合計画(基本計画)の説明、古河市ブランド戦略の動画視聴 ❖ 本日のワークショップの進め方の説明
13:45～ 13:50	(2) 自己紹介・アイスブレイク (約5分) ❖ グループ内で自己紹介(1人1～2分程度)
13:50～ 14:30	(3) グループワーク①「古河市の魅力や課題」(約40分) ❖ 現状・課題を共有。普段の生活で感じていること、10年後の未来に向けた課題などを考える。
14:30～ 15:10	(4) グループワーク②「10年後の未来」(約40分) ❖ 10年後の未来の姿を共有。10年後の自分や古河市を想像しながら、未来のまちの姿について具体的に考える。
15:10～ 15:40	(5) グループワーク③「未来を実現するための取組」(約30分) ❖ グループワーク②で話し合った「未来の古河市の姿」を実現するための取組を考える。各グループで特に実現したい内容について、10年後の未来を見据えた取組を考える。 ❖ 全体発表に向けて、各班で発表内容を整理。
15:40～ 15:55	(6) 全体発表 (約15分) ❖ 当日話し合った内容を各グループ3～4分程度で発表。
15:55～ 16:00	(7) 事務連絡・閉会 (約5分)

2. 市民ワークショップの結果概要

(1) 第1回ワークショップ

第1回では「シティプロモーション・移住定住」をメインテーマに各自の意見を書き出し、グループ内で話し合いました。



(1) - ① 第1班の意見概要

《強みや特性》

- ・花火大会がすばらしいこと、多数のイベントがあること。
- ・都心から近くて他県へのアクセスがよい。車移動がしやすい。
- ・スーパーやドラッグストアなどが多くて買い物に困らない。

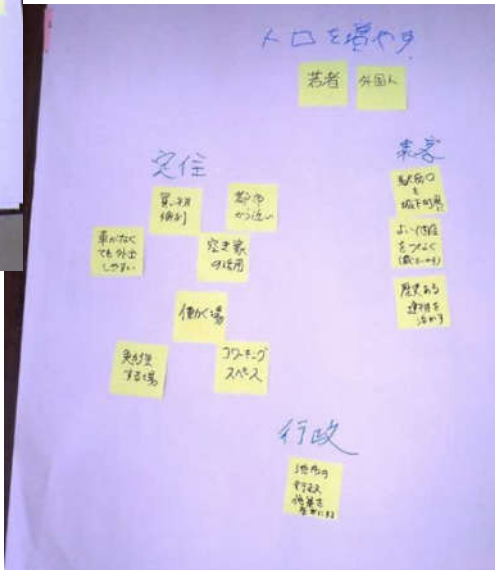
《課題》

- ・車がないと生活しづらく厳しい。場所によって渋滞が多く、交通マナーが悪い。
- ・深夜まで営業している店がない。
- ・駅前が閑散として、シャッター街となってしまう。また駅前に時間をつぶす場所がないことは問題。
- ・水害の危険や地震が怖い。

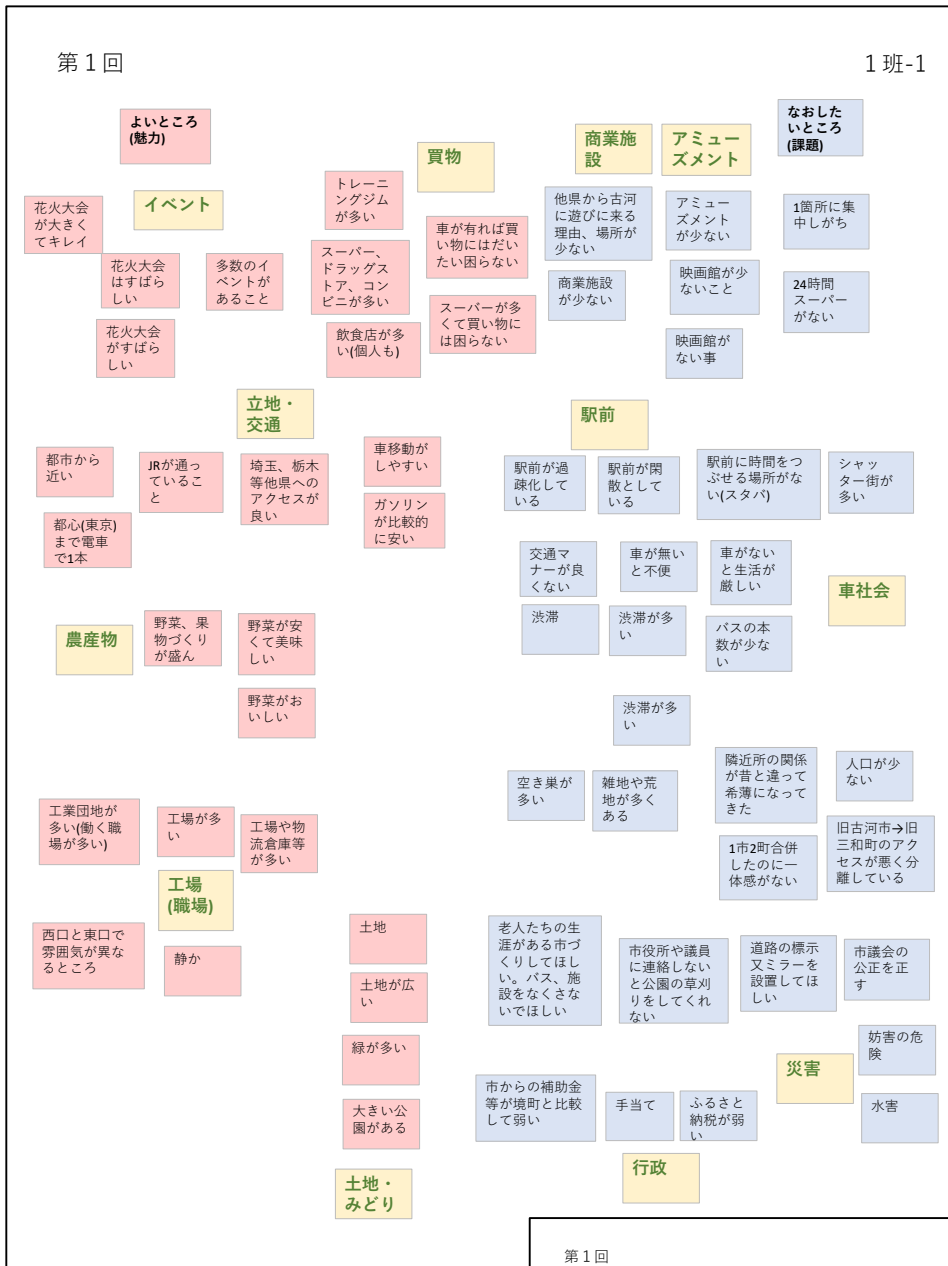
《取組の提案》

- ・古河市の人口がどのようにしたら増えるかについて話したところ、若者と外国人を取り入れるとよいという意見があった。
- ・若者と外国人が住みやすいまちにするには、他市の行政施策を参考にするとよい。境町に若い方が移住しており、保育園など、まちの援助が手厚いと聞いている。人口減少を食い止め、古河に戻ってもらうために取組をしてほしい。
- ・古河のアピールポイントは、買物がしやすいこと。あまり認知されていないが、都市に近く便利なので、アピールしてほしい。
- ・空き家の増加に対しては、若者や外国人に安く住まわす取組をするとよい。

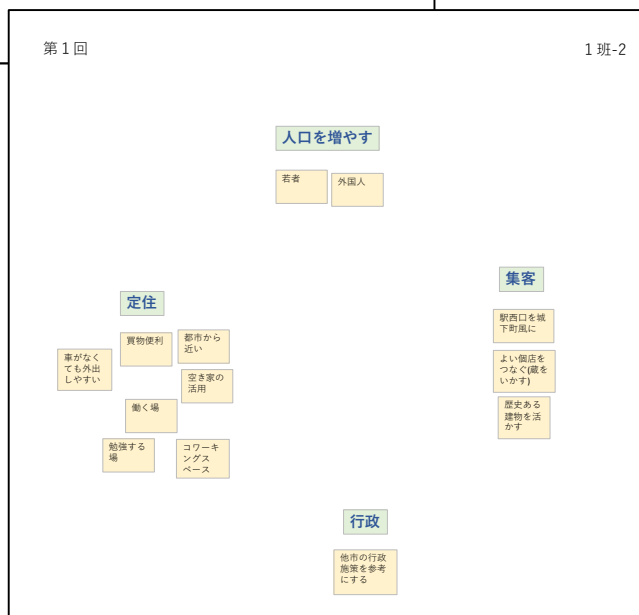
- ・車社会についてですが、車をもっていなくても外出しやすい状況になるとよい。
- ・働く場に関しては、コワーキングスペースを増やして、それをPRしていけばよい。古河で商売を始めたいと思えるようにする。
- ・駅西口にシャッター街が多くなっているが、川越市や栃木市のような城下町風にしたらおもしろい。今ある記念館や蔵がより引き立っていくと思う。商店街にカフェを増やして、若者に商売を始めたいと思ってもらえるようにしてはどうか。



模造紙再現①



模造紙再現②



(1) - ② 第2班の意見概要

《強みや特性》

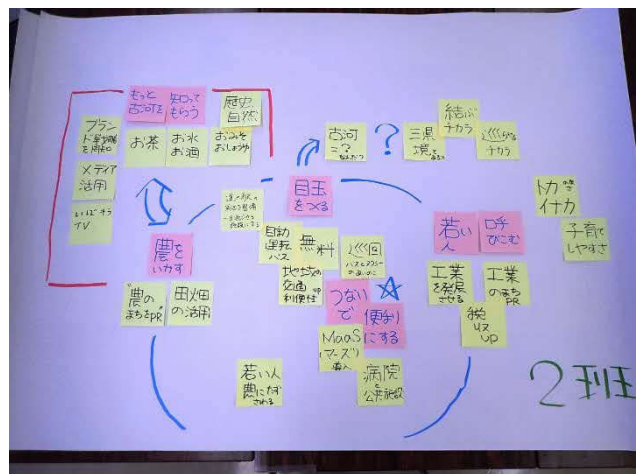
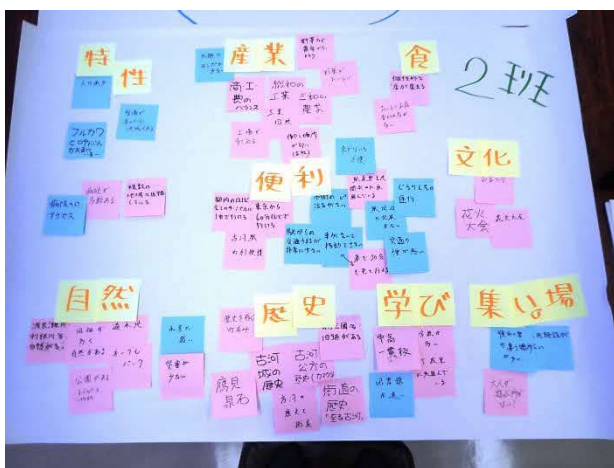
- ・ 三和地区、総和地区、古河地区に農業、工業、商業が3つうまくまとまっている。
- ・ 東京から近いが、まちから外れると渡良瀬川や利根川など自然豊かな情景が広がっている。
- ・ 古河城や古河公方など多くの歴史建造物が市内に点在している。今年は中止となったが、古河市の花火大会は特徴的。
- ・ 自然豊かで、水や酒、お茶などおいしい食べ物があることなど色々な魅力がある。
- ・ 東京から電車や車で約1時間の距離にあり利便性がよい。

《課題》

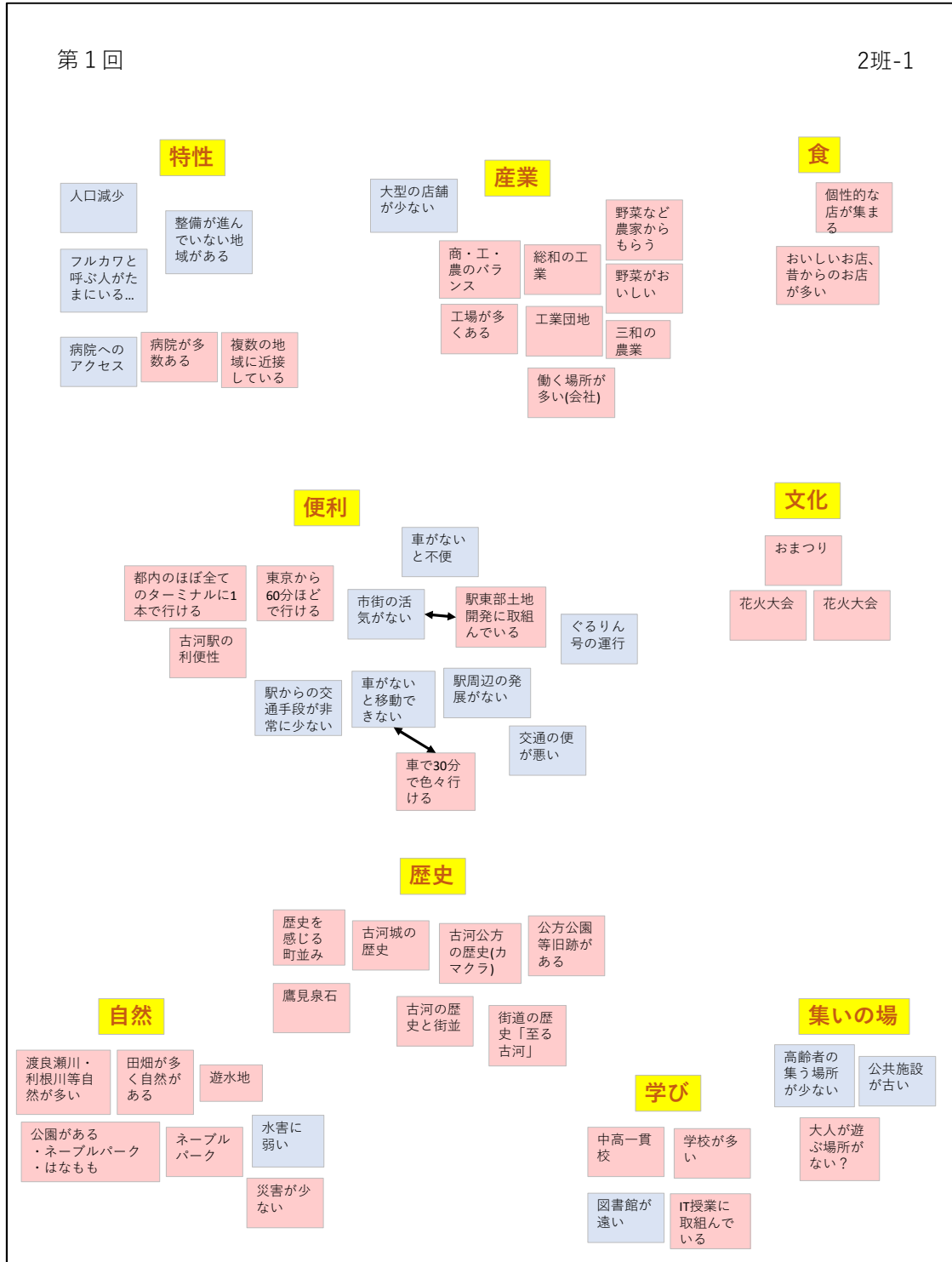
- ・ 古河市内の移動手段が車以外になく不便である。
- ・ 魅力あるものが市内に点在していて、そこへ行く移動手段が車以外にない。

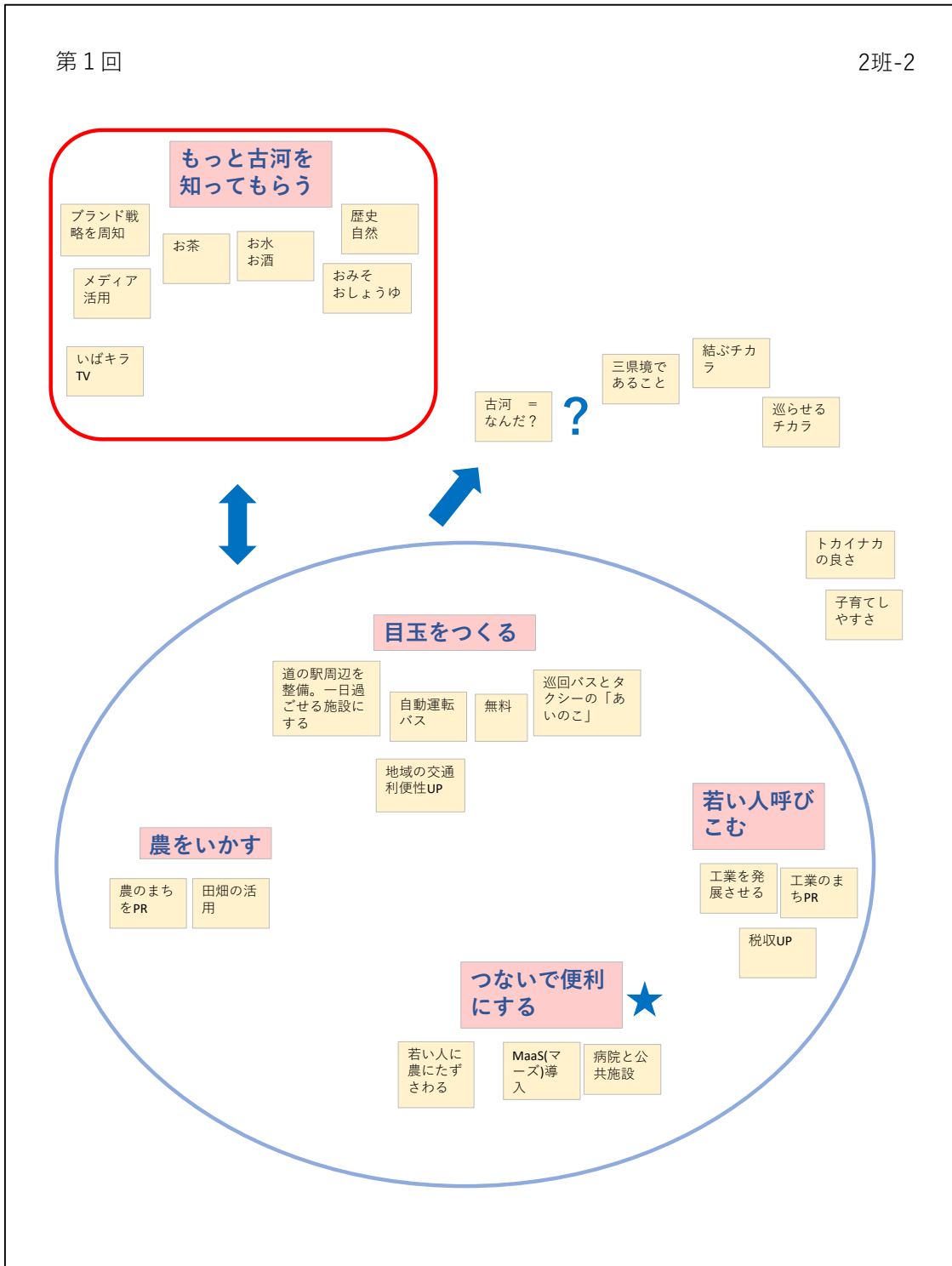
《取組の提案》

- ・ 市内に点在している施設を循環する、新しい交通機関をつくることを提案する。特徴は、必要に応じてこの循環の輪から外れた場所へ人を送迎する仕組みを加えること。このような交通手段があると便利に移動ができるようになる。
- ・ 境町の自動運転バス運行の取組が参考になり、この新しい取組は市のPRにもつながる。循環交通に送迎要素も加えるアイデアは、Maasを参考にしている。市内のスーパーや病院、観光施設を輪のように結ぶことで、生活と観光の両面において、また幅広い年齢層の方にとって便利な交通手段になる。
- ・ ばらばらに点在している地域の魅力をひとつにつなげ、まとめて、移動に困っている方々の助けにもなる。交通利便性の向上は、古河市の新たな魅力発見の機会につながる。



模造紙再現①





(1) - ③ 第3班の意見概要

《強みや特性》

- ・古い店や古民家が多いこと
- ・地価、物価に関しては、土地が安い、家賃が安い、物価が安い、一軒家が持ちやすい。
- ・立地については、都心に近いところがよい。電車で東京に行きやすく、席が空いていて座れる。都心に近く3県に近いので、進学先を選ぶ選択肢が多いというメリットがある。
- ・子育てに関しては、子どもを育てやすい環境である。待機児童がいないという強みがある。人が優しく、子育て環境がよい。また、自然が豊かで公園が多いことが良い。
- ・仕事面では、古河、三和、総和地区で農業、工業、商業の会社が多いという良い点がある。
- ・歴史においては、古河は伝統のある祭りがあり、また古河総合公園は賞をとっているというアピールポイントがある。

《課題》

- ・イベントホールがないことは課題。また商業施設、ショッピングモール、映画館などがなく、遊べる場所が限られる。建物も老朽化している。
- ・人口減少に伴い空き家が増加した。また、駅前商店街の道が狭く、電柱があり、車が通りづらい。
- ・古河に大学など学校がない。より高いレベルを目指す学生は、他県に出て行ってしまう。
- ・スパイファミリーの作者が古河市出身であることがあまり認知されていないので、情報発信力が弱く、デジタル化が進んでいないと思う。市内はキャッシュレス決済が進んでいないので、観光客が来てくれないという心配がある。
- ・古河には新しいことを好まない歴史があると言われており、昔Jリーグチームが古河にできるという話があったが、なくなってしまった。現在は若い女性の数が減り、高齢化が進んでいる状況である。
- ・市内交通に関しては、バスの本数が少なく、通っていない地域もあり不便である。車の免許をもっていない人や高齢者にとっては駅に行くのも大変。

《取組の提案》

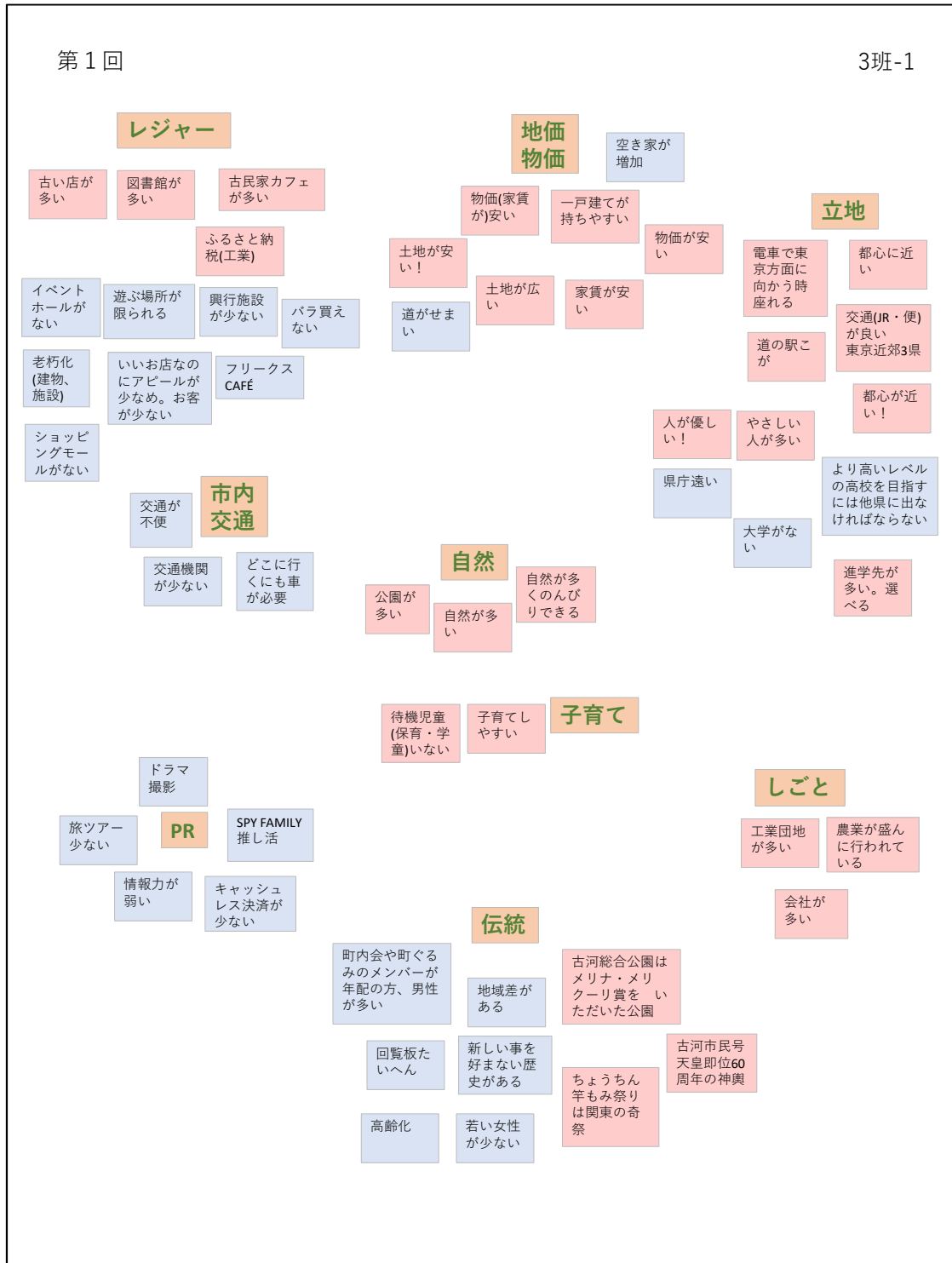
- ・続いて、「自然と伝統を守るこが」について。現在子どもと高齢者の交流の場を増やす取組を進めているが、和太鼓保存会がこういった交流の場として大きな役割をもっているので、今後も続けてほしい。祭りの開催においても、やっている側だけで楽しむのではなく、見に来る側も楽しめるような工夫が必要だ。また、ちょうちん職人が町内で減ってきているので、若い人に受け継いでもらえればと思う。古河は昔、製糸工場で栄えたまちであり、老舗企業や古いお店がまだ残っている。こういったところをもっとPRしてほしい。小京都のまちとして守っていききたい。古河市の自然と伝統を守るために条例をつくとよい。祭りとIT化をもっと発信していけばよい。
- ・市内にバスをくまなく運行してほしい。免許返納した人が買物難民にならないような仕組み作りをしてほしい。高齢者がもっと社会参加できるようなシステム作りをしてほしい。学校などでの交流の場を企画してほしい。また気軽に子どもを預けられる場所があれば、もっと

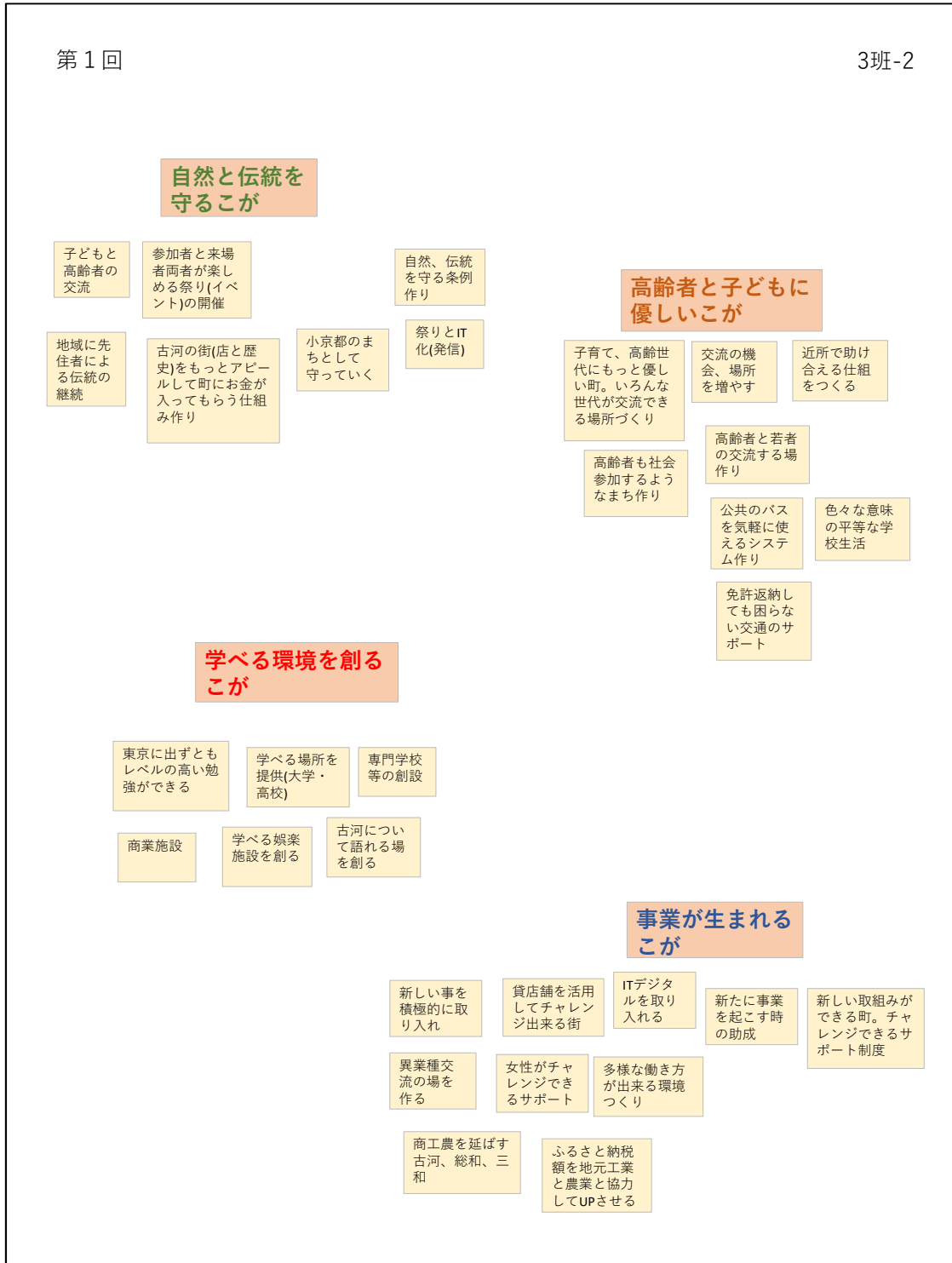
子育てを楽しめると思う。給食費を無償化してほしいという意見も多かった。

- ・東京に出ずにレベルの高い勉強ができるようになればよい。高校、大学、専門学校の創設を希望する。娯楽施設、商業施設をつくってほしい。幅広い年代の方々が古河について語れる場所を作ってほしいという意見があがった。
- ・新しいことを積極的に取り入れていくことが大事。貸店舗を活用してチャレンジができる場所をつくること。IT、デジタル化を取り入れていく。新事業立ち上げ時に助成やサポートを手厚くする。地方で女性が元気なまちは活性化しているので、女性が活躍できるようなサポートがあると良いと思う。古河は工業団地が多いので、異業種交流ができる仕組みができるとよい。交流の場から新事業が生まれ、経済が活性化すると思う。他の班からも話があったが、古河は商業、総和は工業、三和は農業。この3つの地区が合併したので、それぞれの良いところを伸ばして行ってほしい。また、ふるさと納税の返礼品にも市が協力して力を入れてほしい。経済を元気にして行ってほしい。



模造紙再現①





(2) 第2回ワークショップ

第2回では「しごと、情報発信、DX」をメインテーマに各自の意見を書き出し、グループ内で発表しました。



(2) - ① 第1班の意見概要

《強みや特性》

- ・職種は農業・工業・商業があって働くところは多い。
- ・高速インターネット網の整備により、リモートワークでも会議に参加できる。都心へのアクセスよいため、対面の会議にも参加しやすいのがよい。
- ・とにかく人のよさ、古河の人はみんな優しくしてくれる。窓を開けたまま寝ていても問題がない。変な人はいない。子どもがいても安心安全に暮らせる。
- ・あまり知られていないが新古河駅もあり2路線使える。都心までも近い。上野東京ラインで東京まで一本で行ける。道が広くて駐車場がどこにでもある。
- ・住環境について。庭が広くとれる。程よく田舎である。家が広い。自然も豊かである。公園も広い。
- ・農作物について。野菜がおいしい。環境には恵まれている。
- ・歴史ある建物が多い。城下町の歴史がよい。
- ・買い物について。スーパーが多く車があれば便利。仕事の帰りにスーパーやドラッグストアが絶対にあるのがよい。

《課題》

- ・駅前に、滞在できる場所があったらよい。駅前の空きビルをコワーキングスペースとして活用したらよい。
- ・新古河から古河に来るアクセスがないことが難点である。

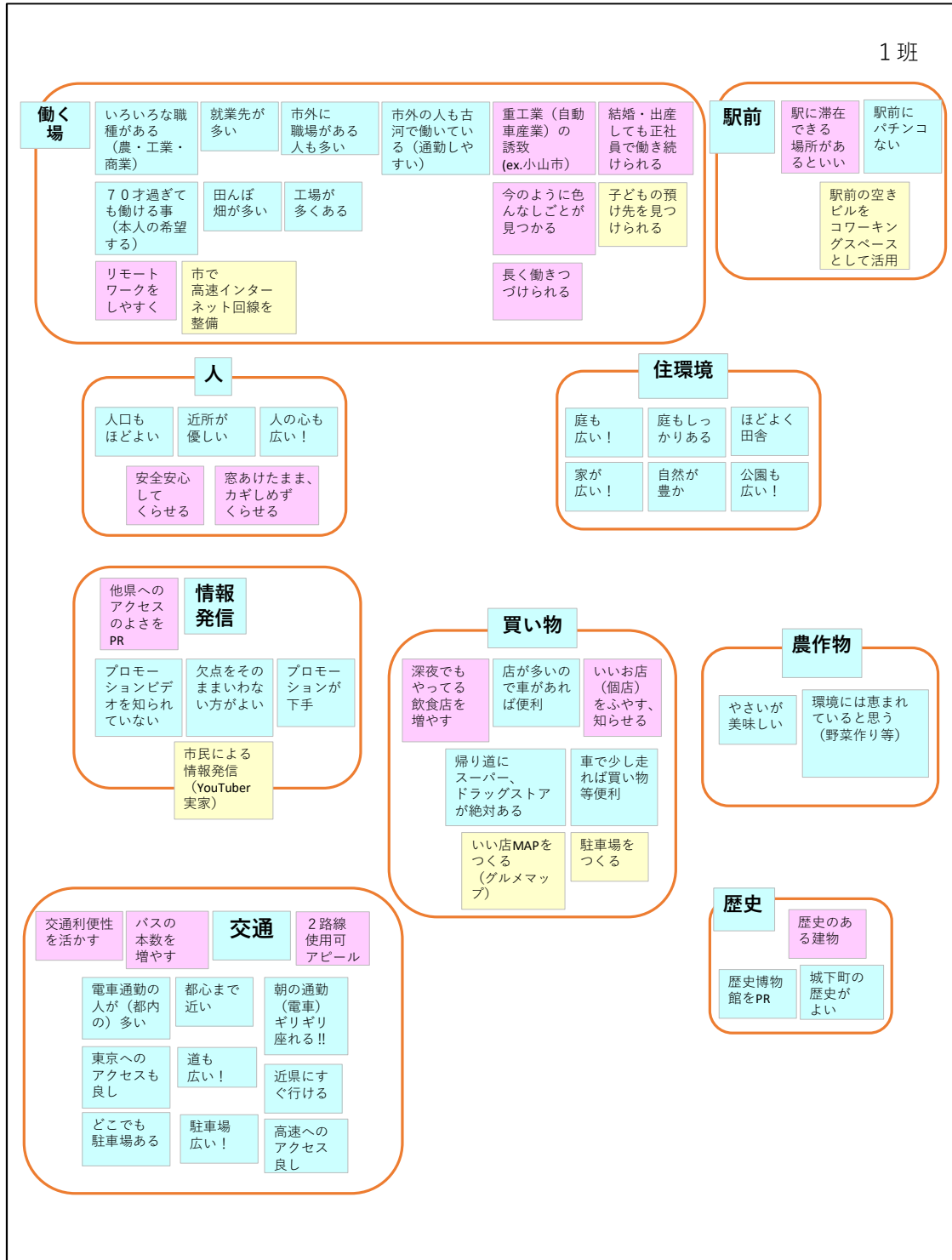
《取組の提案》

- ・待機児童がないので預けるところがあり、働けることをアピールする。工業地帯や日野自動車もあるがさらに大きな工場に来てもらい開発したい。そうすれば長くも働け、工場は敷地が広いので色々な職種ある。

- ・ 歴史博物館をもっとPRしたらよい。
- ・ バスの本数は増やした方がよい。
- ・ 深夜でもやっている飲食店を増やしたら働いている人（夜勤などの方に）に便利なのではないか。グルメマップを作ったり、個店に入りやすいよう駐車場を作るとよい。
- ・ 群馬にも栃木にも埼玉にもすぐ行けるので、その土地の美味しいものをすぐに食べに行ける。YouTuber 塚原農場さんに協力いただいてPRしていった方がよい。



模造紙再現①



(2) - ② 第2班の意見概要

《強みや特性》

- ・ バランスよく仕事はある
- ・ お祭りがあったからこそ人とのつながりが大きかったが、コロナ禍でお祭りが少なくなり地域のつながり、子どもと高齢者のつながりが減少した。
- ・ お祭りに行けば地元の企業が出店しているので古河のことをもっと知るきっかけとなる。お祭りが再開され、そこでの情報や子どもたちの体験を通じて、古河っていいなと思ってくれるようになればよい。そうすれば子どもや孫の世代も古河に住み続けてくれるのではないかな。

《課題》

- ・ 旧古河駅前には空き店舗が多い。個人商店が伸びない。世代交代がうまくいかない。店舗兼住宅のお店もいっぱいあり、これからどんどん空き店舗が増えてくるのではないかなという不安の中で、古河の強みである歴史や自然を企業や商業と結びつけて何か始められるのではないかな。
- ・ 様々な職種に触れあう機会が設けられていないためどんな仕事があるか知られていない。

《取組の提案》

- ・ 若い人に経験の場を与えるため、小中高の教育の中に世の中にはどんな職業があって、特に古河市にはどんな仕事があるのかを盛り込み、古河市で働きたいと思える人を増やしたい。
- ・ コワーキングスペースでも仕事ができるような環境をもっと整備していくことで古河市でも働き、暮らしていける環境づくりを進めていきたい。
- ・ いまやネット時代ではあるがイヤでも目に入るアナログ発信を増やす。(ex. 駅構内や赤信号時に目に入る自治体の掲示板に情報発信のポスターや掲示等)
- ・ 子育て世代には予防接種、おむつ替えスペースの情報、高齢者や大人には病院やバスの待ち時間が一括で載っているようなアプリの開発。(HP にはアップされているが活用されていない)
- ・ アナログでの情報発信とともにケーブルテレビを安くして加入数を増やし、地域の情報を文字以外の映像で古河情報をもっと広めたい。

じいじ

情報

くらし

しごとはある

若い人に経歴の場も就職を控えた方がいい

子どもに古河の仕事を紹介

三和の農業

農業がなくなる

フリックス (コワーキングスペース) の出現

東京や大阪まで通勤

古河の商三和の歴史を知るの？

古河の商三和の歴史を知るの？

個人向けに呼びかけ

個人向けに呼びかけ

個人向けに呼びかけ

歴史と文化 + 商 = 味噌

歴史 + 特産品

歴史 + 特産品

歴史 + 特産品

歴史 + 特産品

歴史 + 特産品

フルTV 加入させ

フルTV 加入させ

フルTV 加入させ

フルTV 加入させ

フルTV 加入させ

フルTV 加入させ

市役所のDXは進捗は？

市役所のDXは進捗は？

市役所のDXは進捗は？

市役所のDXは進捗は？

市役所のDXは進捗は？

市役所のDXは進捗は？

市役所のDXは進捗は？

お互いがお互いを知らない

お互いがお互いを知らない

お互いがお互いを知らない

お互いがお互いを知らない

お互いがお互いを知らない

お互いがお互いを知らない

お互いがお互いを知らない

お祭りが盛ん

お祭りが盛ん

お祭りが盛ん

お祭りが盛ん

お祭りが盛ん

お祭りが盛ん

市全体が景観になっている

市全体が景観になっている

市全体が景観になっている

市全体が景観になっている

市全体が景観になっている

市全体が景観になっている

市全体が景観になっている

若い人にとって魅力があるだろうか？

若い人にとって魅力があるだろうか？

若い人にとって魅力があるだろうか？

若い人にとって魅力があるだろうか？

若い人にとって魅力があるだろうか？

若い人にとって魅力があるだろうか？

若い人にとって魅力があるだろうか？

子育てするにはよいまちか？

子育てするにはよいまちか？

子育てするにはよいまちか？

子育てするにはよいまちか？

子育てするにはよいまちか？

子育てするにはよいまちか？

子育てするにはよいまちか？

暮らしは市内で見結

暮らしは市内で見結

暮らしは市内で見結

暮らしは市内で見結

暮らしは市内で見結

暮らしは市内で見結

子育て情報 子育て支援

子育て情報 子育て支援

子育て情報 子育て支援

子育て情報 子育て支援

子育て情報 子育て支援

子育て情報 子育て支援

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

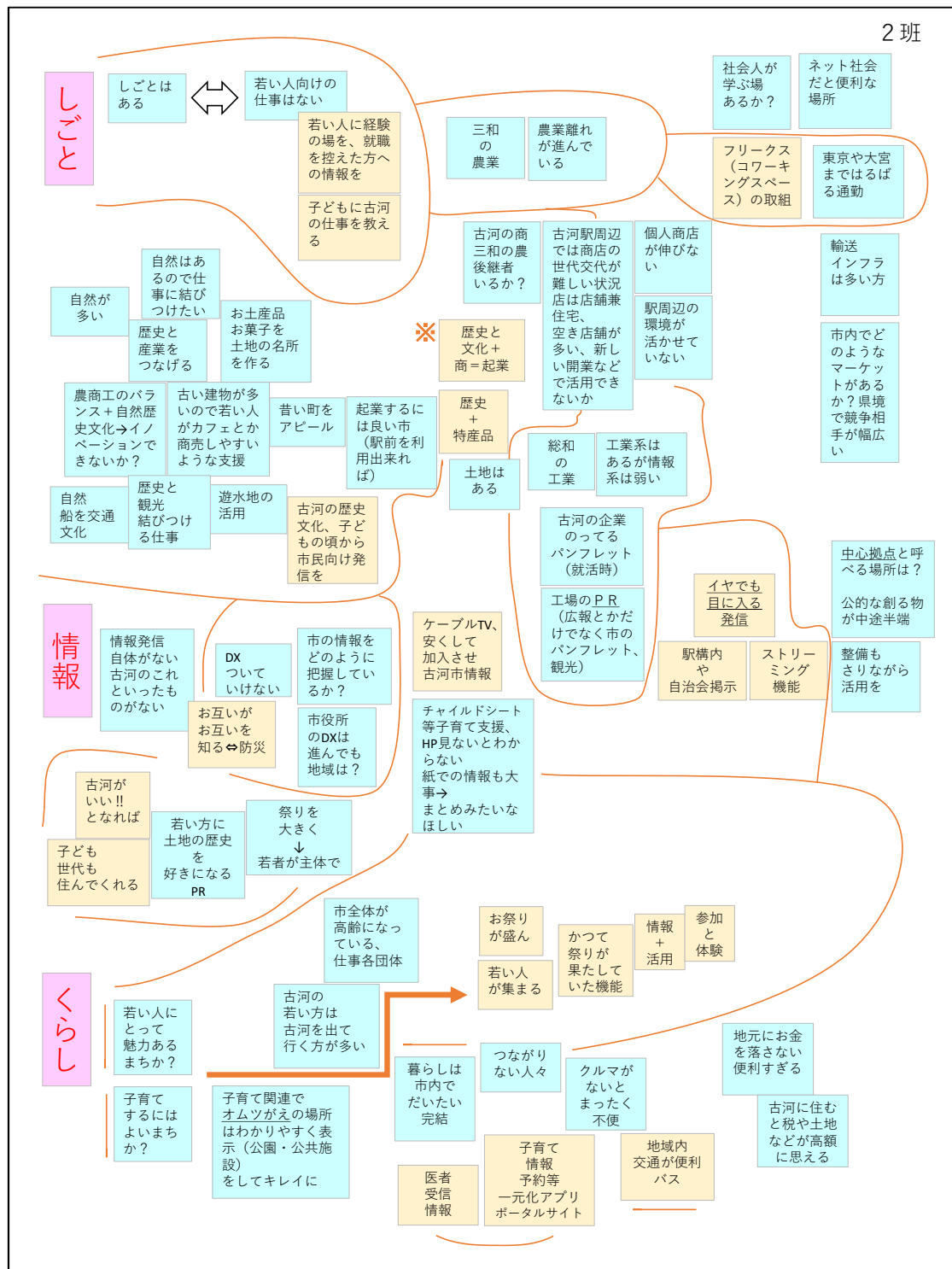
社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

社会人が多い

模造紙再現①



(2) - ③ 第3班の意見概要

《強みや特性》

- ・古河にはたくさん工場や工業地帯があつて、たくさんの雇用もあり仕事も選べる。
- ・生活面ではスーパーもたくさんあり不便なところはない。
- ・他の地域に移動せずに古河で遊んだりゆっくりしたりできるネーブルパークがある。

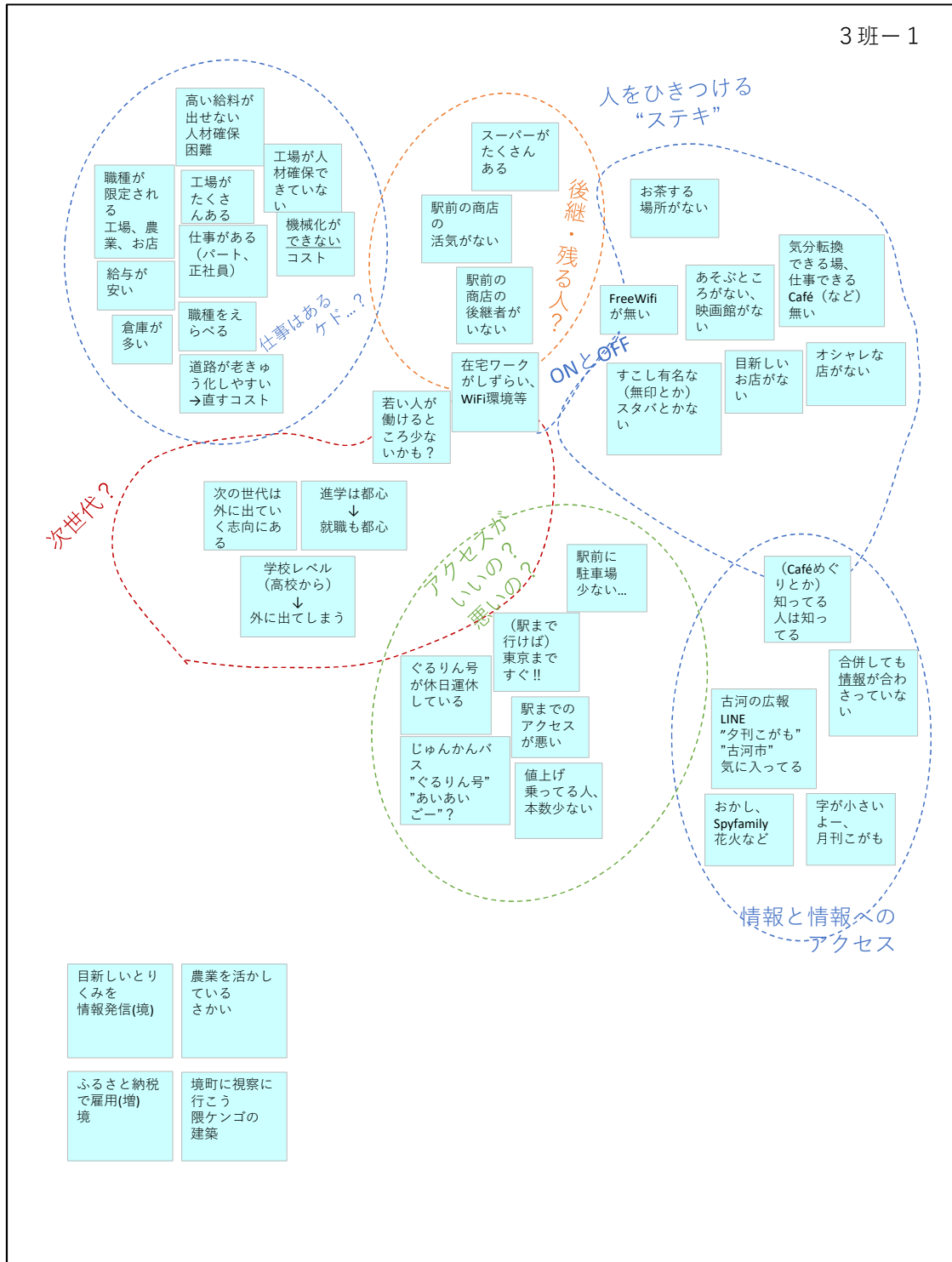
《課題》

- ・職種が限定されてしまい、給料が安い。
- ・働ける場所はあるけれど、若い方が古河に残って働いてくれるかは今後の課題。
- ・駅前の商店街に活気がない。駅前ビルに店舗が入っていない。
- ・遊ぶところが限定されてしまう。映画館・動物園・水族館があると生活にも張りが出る。
- ・アミューズメントパークがない。駅前を含めコーヒー店がない、特にスタバ（人口密度に対してスタバがない市町村全国2位が古河市）を誘致したい。
- ・定年が延びるなか高齢者が楽しんで働ける仕事があれば将来的に安心。古河は75歳まで働ける高齢者のしやすい場所となれば他から移り住む人も増える。

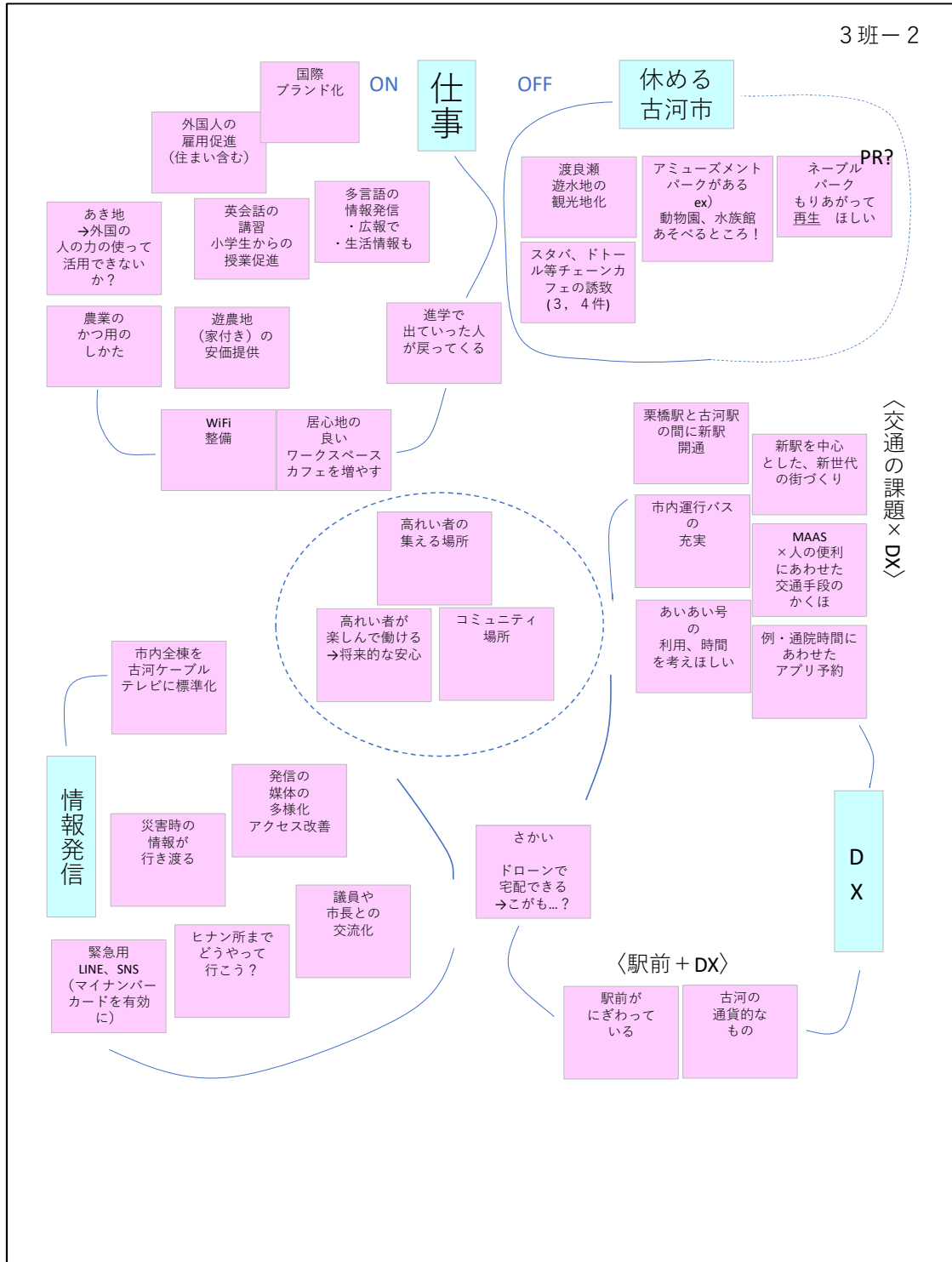
《取組の提案》

- ・在宅ワークが普及しているので、Wi-Fi環境があるお店や公共施設を増やす。
- ・車を利用しない方の交通手段として、ぐるりん号やあいあい号を利用するが時間帯・本数・休日運休の改善が必要。
- ・歴史や魅力あるスポットを周知する方法として広報誌以外にも目で見えてわかりやすいものがあるとよい。
- ・惹きつける場所としてお茶するところや気分転換できるところをつくる。
- ・古河市の将来像として。まず、仕事について。農業・商業・工業とほかの地域に比べると仕事がたくさんあるが、今後工場や人手不足の懸念があるので国際ブランド化して外国人の雇用を促進する。
- ・例えば、空き地や農業を辞められた方の農遊地もたくさんあるので外国の方や若い方に家付きで農地を安価に提供すれば新しく農業をやりたい人材が生まれるのではないかな。
- ・また、国際ブランド化するために英会話の講習(子どもから大人まで)を促進し、古河に住めば小学生のうちから英語を学べることをアピールすることでほかの地域から古河で教育させたいと移り住む子ども連れ家族が増えるのではないかな。
- ・ネーブルパークがあまり認知されていないのもっとPRする。(古河市民は安く利用できる等メリット設ける)
- ・情報発信について。災害情報を密にするため河川の情報を流している古河のケーブルテレビを安価で市内全域に標準設置する。LINEやSNSで災害情報を密に流す。
- ・議員や市長と話せるフランクな街になっていくと住みやすい街になる。
- ・DXについて。南古河駅をいち早く作り新世代の街づくり。バスの充実として、バスの時刻や病院の予約・待ち時間等が閲覧できる一元化アプリをつくる。古河の通貨(ex.古河Pay)をつくり、古河市内でPayしたものにはポイント還元率を増やす等で地域活性化を図る。





模造紙再現②



(3) 第3回ワークショップ

第3回では「地域福祉、教育・学習」をメインテーマに各自の意見を書き出し、グループ内で話し合いました。



(3) - ① 第1班の意見概要

《強みや特性》

- ・ ボランティア協会ではヤングケアラーを視野に入れて取り組んでいる。
- ・ ケアマネージャーが積極的に活動している。高齢者施設を見つけてくれた。ほかの市町村に比べると対応が速い。

《課題》

- ・ 高齢化に伴い横のつながりが、ジェネレーションギャップで縦のつながりがなくなり、消防団や自治会に（若い人が）入らない問題が出てきている。
- ・ 教育と学習について。PTA活動を子どもたちにどう伝えていくべきか。子どもたちに平等な教育をしていくにはどうしたらよいか。
- ・ ICT やインターネットを利用した授業を取り入れていることはよいが、実際にタブレットを使用する際の教え方について、先生方がどれくらい理解しているか。自由学習の際に子どもたちがどこまで使っているかが問題である。
- ・ 高齢者が一人で住んで土地が空いているが、若い人がそこに住む状況になっていない。
- ・ 大学進学で古河を離れてしまう。そのまま都心で就職してしまうので、それに向けて古河市としてどのような対策をとっていけばよいのか。

《取組の提案》

- ・ 自然を活かした授業を行う。例えば、渡良瀬遊水地を活用する。
- ・ 雨の日でも子どもが遊べる場をつくる。子どもに限らず高齢者も集まれる場所があれば横のつながりが生まれる。
- ・ 古河の歴史を取り入れて若い人にも知ってもらう。
- ・ お祭りについて、どちらかというと上の世代向けの祭りが多いため、子どもたちが集まって楽しめるような子ども向けの祭りがあってもいい。
- ・ 若い世代が古河にとどまりたくなるような示しが必要。

高齢化
への対応

高齢者の
増加、社会
参加の促進

一人暮らしの
高齢者の
増加、介護
サービスの
不足

応用型で、
高齢者の
ニーズに応
える

施設入居の
高齢者の
増加、介護
サービスの
不足

高齢者が
住みやすい
環境づくり
(介護支援
施設)

地域
福祉

高齢者の
増加に伴い
高齢者の
ニーズに応
える

交通手段に
よる地域
の高齢者
の孤立化
防止

高齢者の
生活に
支障を
きたさない
よう

高齢者の
生活に
支障を
きたさない
よう

平等な
教育

子どもの意見
を尊重し
(PTA活動
の推進)

PTA活動
の推進
(PTA活動
の推進)

各町・地区
の教育
水準を
向上させる

教育
学習

学校中では
ICTの活用
が必須

小・中学校の
ICTの活用
が必須

ICTの活用
が必須

ICTの活用
が必須

ICTの活用
が必須

ICT
活用

ICTの活用
が必須

ICTの活用
が必須

ICTの活用
が必須

ICTの活用
が必須

ICTの活用
が必須

古河を
愛する

南の町も
子供が
住みやすい
環境づくり

南の町も
子供が
住みやすい
環境づくり

南の町も
子供が
住みやすい
環境づくり

笑顔に
つながる
まちづくり

子どもから
高齢者が
暮らせる

33の
まちづくり

昔より
33の
まちづくり
が盛んな

消防団の
減少

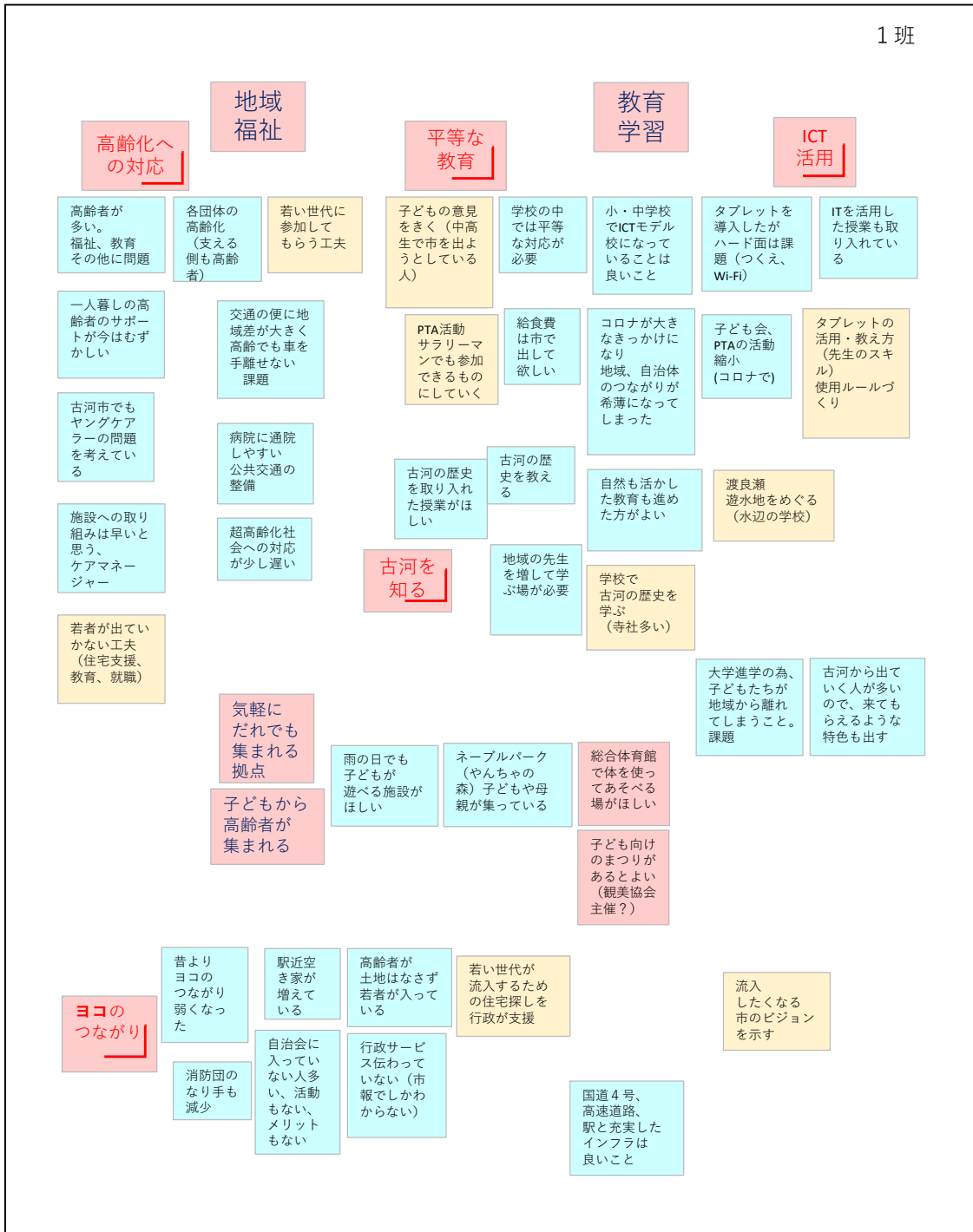
高齢者が
土地は
少ない
が、若者が
入居している

自治会に
入っていない
人が多い

行政サービス
が受けにくい
(市町村)

流入
している
市町村
を挙げる

国道路、
高速道路
駅と、発展
インフラは
良い



(3) - ② 第2班の意見概要

《強みや特性》

- ・老人会の活動が盛んである。
- ・デイサービスなどの施設が多い。
- ・マル福がよい。(子どもはすべて 500 円)
- ・よい医療費の取組がある。発展させていきたい。

《課題》

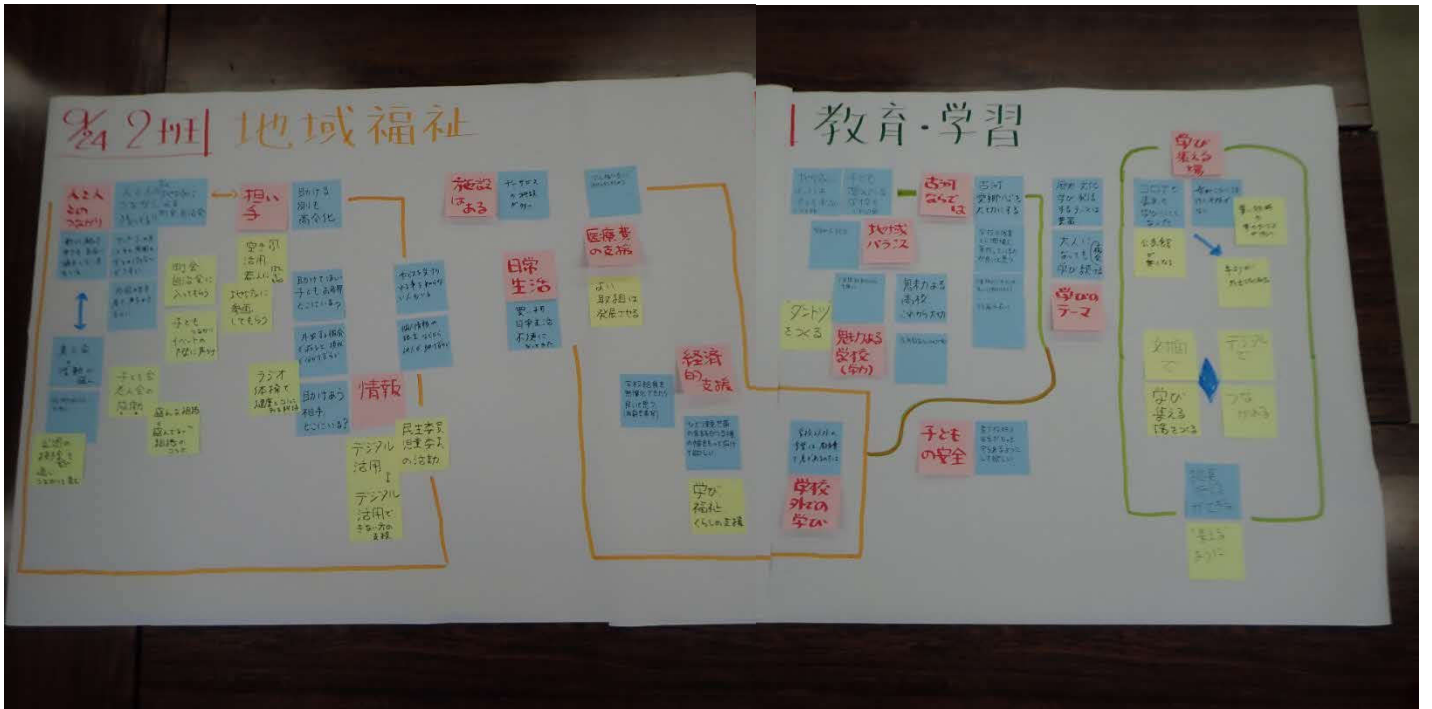
- ・地域による町会や自治会は残っているが、新しく越してきても自治会に協力しない方がいる。アパートの方はその周囲の方と付き合いが薄く、また、外国人の方に声をかけづらい。
- ・建物の老朽化。立て直しにお金がかかるため集会所がだんだん閉鎖されている。
- ・助ける側も高齢化している。助けてほしいお年寄りや子ども、助け合う相手がどこにいるかわからない。
- ・情報が行きわたっていないため、サービスを受けられることを知らない人がいる。
- ・個人の情報を引き出しにくい。
- ・児童委員や民生委員の方が家庭を回ってくれてよいと思う反面、「うちはいいです」と断られるケースも見受けられる。
- ・デジタルを活用できない方への支援。
- ・お年寄りは外出機会が減ると、体はしっかりしているのかなどの現状が分かりにくい。
- ・日常生活について、買い物は車がないと不便。店はあるけれど車の運転ができない。
- ・古河の周りには有名私立大学や高校があり、古河の駅前に専用バスが停まっていて生徒が乗り込んでいくが、古河にはそういった学校がなく空白地化している。

《取組の提案》

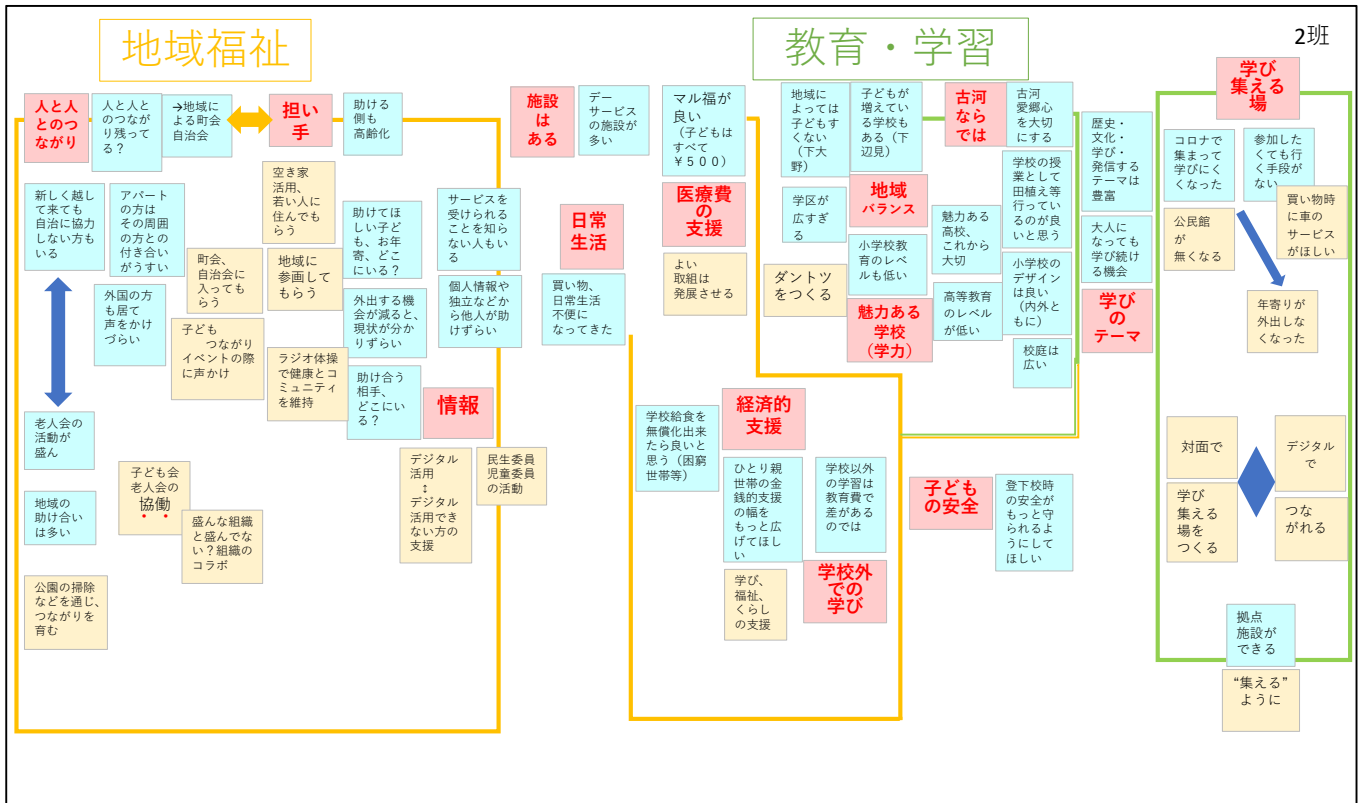
- ・デジタル弱者にでもボタン一つでできるものを作る。
- ・公園の掃除などを通じて横のつながりを育む。
- ・子ども会と老人会が協力する。
- ・盛んな組織と盛んでない組織のコラボ。(例：子ども世帯や都心に行ってしまった人たちとのバーベキュー)
- ・空き家をうまく活用して、若い世代に住んでもらい、地域に参画してもらう。
- ・経済的支援について。学校給食の無償化が出来たらいい。
- ・ギリギリ支給対象にならない人もいるので、ひとり親世帯の金銭的支援の幅をもっと広げたい。
- ・学び、福祉、くらしの支援をもっとしてほしい
- ・突き抜けたダントツの学校をつくる。(例：大分県のド田舎に立命館のアジア太平洋大学を作り外国から先生や生徒を呼び英語しか話さないことを売りにした。その関東版 or 高校版を作る。)
- ・古河にしかない、古河に行かなければ通えない学校を作り来てもらう。(KDDI の送信所や日野自動車など、古河にゆかりのある企業に協力してもらって、例えば、自動車に特化した学校

など。)

- ・上記のような突き抜けた学校ができれば、お年寄りの生涯学習もサポートし、高校生とお年寄りの交流もできることをアピールできる。お年寄りには知識があるのでお年寄りから若い人が学ぶこともできるようになる。関東には古河にしかないことで人を集めることができればよい。



模造紙再現



(3) - ③ 第3班の意見概要

《強みや特性》

- ・中高一貫校もあり、専門高校も多い、アクセスもよいので選択肢も多い。
- ・英検テキスト料補助の制度がある。
- ・小・中学校は少人数化してひとりひとりのスキルを高めたい。
- ・民生委員の活動力がよい。児童委員がいる。
- ・高齢者が優しい。高齢者サポートセンターがあるのがよい。オレンジカフェがある。
- ・市が直接関わっている「福祉の森ぐるんぱ」があるのがよい。

《課題》

- ・教員不足。
- ・外国の方が増えており、日本語が話せない方も多いため、日本人の英語力を高めたい。
- ・障がい者の職場環境（バリアフリー・仕事）が整っていない。
- ・企業と働く人をつなぐ何かをもっとあったらよい。
- ・歩道が狭い、またはない場所があり、段差も多く、歩きづらい。
- ・高齢者対応マニュアル本やアプリがなく困っている。
- ・福祉のアピール力、発信力が足りない。
- ・手帳を申請する際は健康の駅に行き、利用については福祉の森へ行くなど、用途によって施設が異なり、また、それぞれの施設が遠くて行きづらく困っている。
- ・福祉に充実したショッピングリストがない。
- ・地区や行政のサービスごとの横のつながりが少ない。
- ・今回のような企画課の会議もシティプロモーション課でも同じようなことをやっていたり、「こがでくらすと」はブランド戦略室が作っていて、同じようなことをやっている。庁内の横のつながりはどうなっているのかわかりづらいので、横のつながりを充実したらよいのではないか。

《取組の提案》

- ・インバウンド（観光客）を増やせば、市にお金をもっと入り福祉や教育の方に回せるのではないか。
- ・外国人と高齢者のコミュニティを作る。
- ・地域コミュニティサポート者への税一部控除やポイント制、プレミアムエール券のようなものがあつたらよい。
- ・働く人を増やすために休日保育を充実させる。
- ・障がい者・高齢者・育児などをまとめて相談できる、またヤングケアラー、ピアサポートが相談、話し合いができる場所が充実するようなダブルケアやオレンジカフェ、居場所となる場所が充実するとよい。
- ・専門性の高い大学や専門学校を誘致する。

- ・古河に来ないとダメだというのがあれば若い人がどんどん来てくれて町が活気づく。
- ・工場・企業がたくさんあるので、教育の一環として若い人が市内企業で職場体験、補助金を充実させる。古河にはこんな会社や仕事があるんだ、働いてみたいと思わせる。
- ・子どもを大切にする教育、教員不足が問題となっているが、優遇措置などもとれたらよい。
- ・インド式算数を取り入れる。
- ・古河を愛する子どもを育てるために、古河の文化や産業や歴史に興味を持ってもらえるようなPRをしていくとよい。
- ・歴史のまち古河、西口を再開発して動線をよくして、歴史のある町を完璧にしていく。
- ・英語教育、英語圏内の外国に姉妹都市を作り、留学の受け入れ、文化交流がたくさんできる制度を作りたい。
- ・住んでいる外国人との壁を取り除くために、外国人と高齢者のコミュニティを作る。簡単な英語、日本語、茨城弁を双方が覚えることで、また話したい、行きたいと思える場所があると、高齢者も楽しく過ごせるのではないかな。
- ・文化や芸術の発表の場を増やす。
- ・市民で協力してサービスMAPを作る。(Google Map 利用して)
- ・蔵の街を栃木・結城と協力する。民間と行政のダブルで行う。
- ・福祉サービスへのアクセスをよくするために、福祉のアピール力と発信力をアップさせる。
- ・安心、安全に暮らせる町が何よりも大切。
- ・子ども食堂の増設。
- ・オレンジカフェや古民家を利用した居場所づくり。
- ・行政と地区の横のつながりを深める。
- ・ぐるりん号をもっと乗りやすくすればアクセスもよくなる。
- ・商店街や商工会に若い力や女性の力がもっとあったらよい。
- ・介護や子育てに悩む人たちが相談できる社会になるとよい。
- ・みんなが楽しく働ける、参加できる社会にするために、休日保育の充実や、障がい者が働きやすい環境をサポートする。
- ・歩道を整備し、ウォーキングしやすくする。

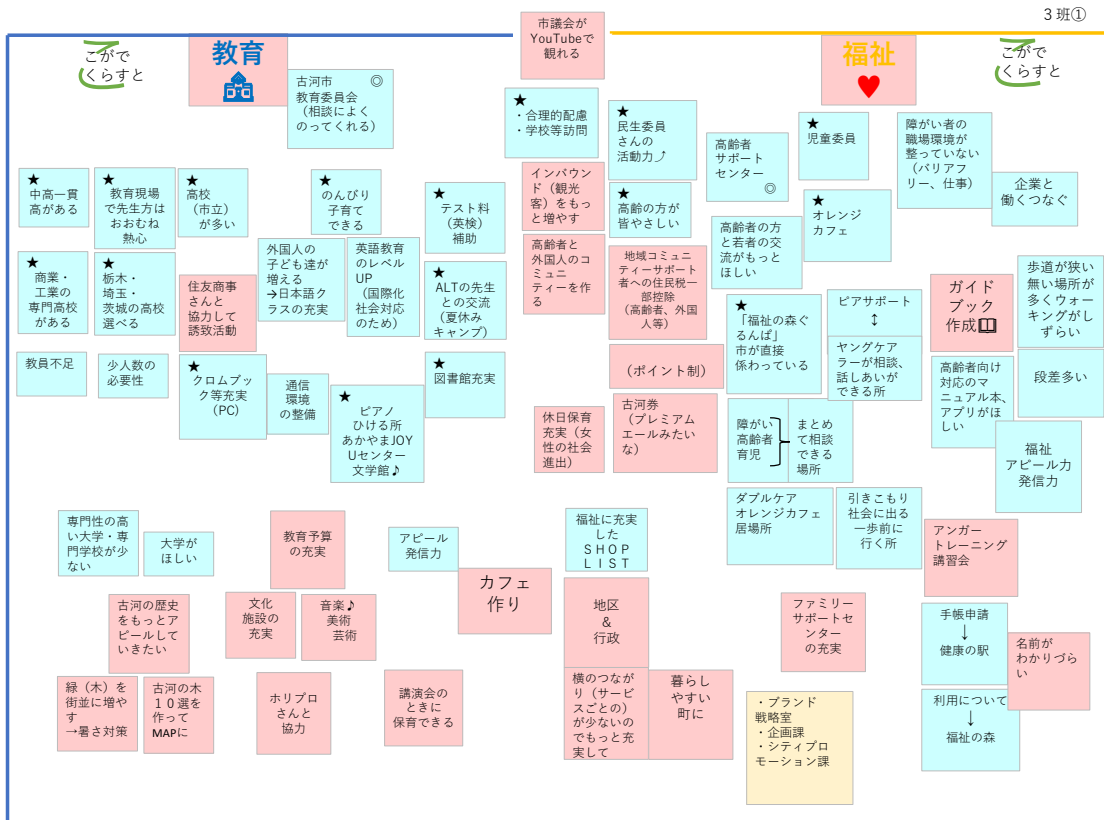
Handwritten mind map on the left page of a notebook, titled "教育" (Education) and "福祉" (Welfare). The map is divided into several sections:

- 教育 (Education):**
 - 市議会の教育審議会 (Municipal Education Review Committee)
 - 合理的な高度な学校等機関 (Rational advanced school organizations)
 - インバウンド(観光) 観光客の増加 (Inbound tourism) - 観光客と外国人のコミュニケーション
 - 外国人の子ども達が増える → 日本語教育 (Foreign children increasing → Japanese language education)
 - ALTの先生と生徒との法 (ALT teachers and students)
 - 図書館 充実 (Library improvement)
 - 文化施設の充実 (Cultural facilities improvement)
 - 音楽の美行目 芸術 (Music and art)
 - 音楽の施設 充実 (Music facilities improvement)
 - 音楽の施設 充実 (Music facilities improvement)
 - 音楽の施設 充実 (Music facilities improvement)
- 福祉 (Welfare):**
 - 合理的な高度な学校等機関 (Rational advanced school organizations)
 - 見守り委員 (Monitoring committee)
 - 高齢者ボランティアセンター (Elderly volunteer center)
 - 女性活躍 (Women's advancement)
 - 介護 (Nursing care)
 - 障害者 (People with disabilities)
 - 高齢者 (Elderly)
 - 子育て (Child-rearing)
 - 家族サポートの充実 (Family support improvement)
 - 高齢者向け福祉サービス (Welfare services for the elderly)
 - 高齢者向け福祉サービス (Welfare services for the elderly)
 - 高齢者向け福祉サービス (Welfare services for the elderly)
- その他 (Others):**
 - 企業と協働 (Collaboration with companies)
 - 子育て支援 (Child-rearing support)
 - 高齢者 (Elderly)
 - 子育て (Child-rearing)
 - 家族サポート (Family support)
 - 高齢者 (Elderly)
 - 子育て (Child-rearing)
 - 家族サポート (Family support)
 - 高齢者 (Elderly)
 - 子育て (Child-rearing)
 - 家族サポート (Family support)

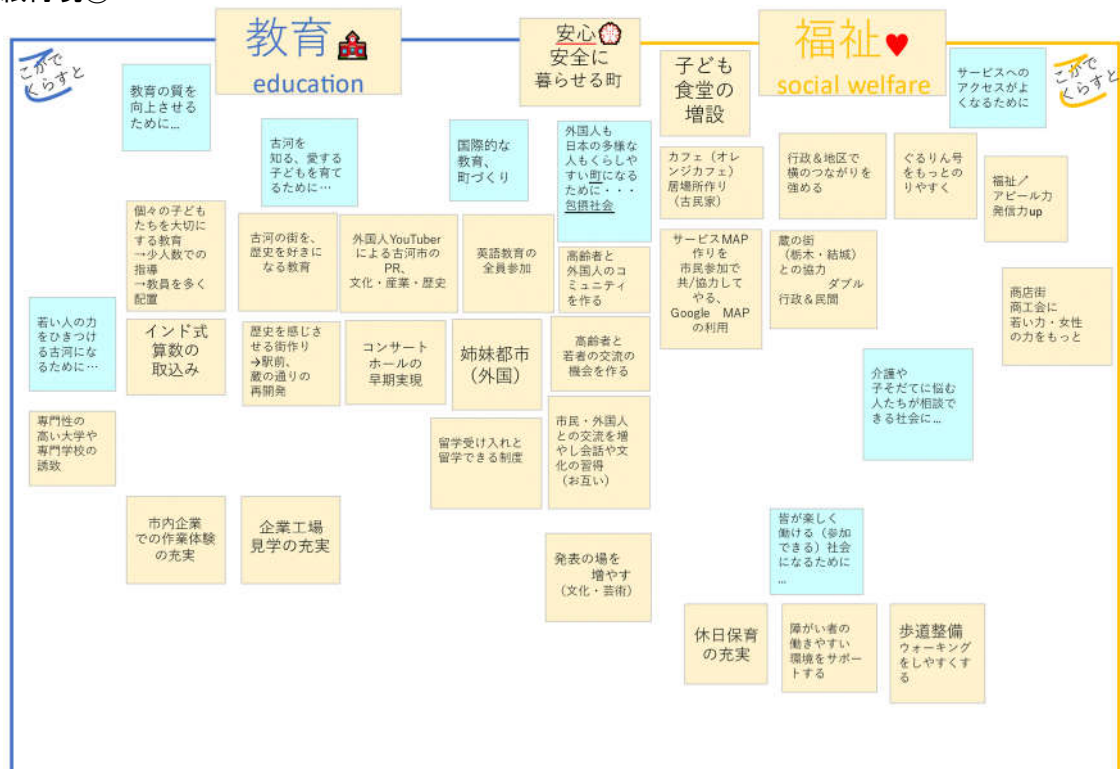
Handwritten mind map on the right page of a notebook, titled "教育" (Education) and "福祉" (Welfare). The map is divided into several sections:

- 安心 (Security):**
 - 安全に暮らせる町 (Town where you can live safely)
 - 外国人の増加 (Increasing number of foreigners)
 - 高齢者との交流の機会を作ります (Create opportunities for exchange with the elderly)
 - 市民・外国人との交流を文化の場 (Exchange between citizens and foreigners at cultural venues)
 - 発表の場を増やす (Increase opportunities for expression)
 - 発表の場を増やす (Increase opportunities for expression)
 - 発表の場を増やす (Increase opportunities for expression)
- 子ども (Children):**
 - 子ども食堂 (Children's dining hall)
 - カフェ (Cafe)
 - 居場所 (Place to stay)
 - 例 (Examples)
 - 子育て支援 (Child-rearing support)
 - 子育て支援 (Child-rearing support)
 - 子育て支援 (Child-rearing support)
- 福祉 (Welfare):**
 - 行政と地域との連携 (Cooperation between administration and community)
 - 高齢者 (Elderly)
 - 福祉 (Welfare)
 - 福祉 (Welfare)
 - 福祉 (Welfare)
 - 福祉 (Welfare)
 - 福祉 (Welfare)
- 教育 (Education):**
 - 教育の町 (Education town)
 - 国際化 (Internationalization)
 - 外国人 (Foreigners)
 - 英語教育 (English education)
 - 外国人の増加 (Increasing number of foreigners)
 - 外国人の増加 (Increasing number of foreigners)
 - 外国人の増加 (Increasing number of foreigners)

模造紙再現①



模造紙再現②



3. ワークショップの資料

資料①募集チラシ（オモテ面）

“まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり”

まちづくり市民会議の 参加者を募集します！

まちづくり市民会議とは

市では、第2次古河市総合計画第Ⅲ期基本計画の策定に向けて、まちづくり市民会議を開催します。市民会議では、市の強みや未来のあるべき姿などを、参加者の皆さまで楽しく話し合ってください。専門家によるサポートもごしますので、安心してご参加ください。

日時

令和5年
7月29日（土）
8月26日（土）
9月24日（日）
13:30～16:00（時間は予定）

会場

中央公民館
 〒306-0204
 茨城県古河市下大野2248

応募期限

5月15日（月）まで

募集人数
40名

参加を希望される方は、下記申込書に必要事項を記載の上、裏面応募方法によりお申込みください。

<キリトリ線> まちづくり市民会議 参加申込書 <キリトリ線>

参加可能日 (右記欄に○をつけてください)	第1回令和5年 7月29日(土)	
	第2回令和5年 8月26日(土)	
	第3回令和5年 9月24日(日)	
ふりがな		性別
氏名		男・女
連絡先	() -	

※日中、連絡が取れる電話番号の記載をお願いします(携帯電話可)。
 ※本申込み用紙は、同封のアンケート調査とは異なる集計のため、アンケートについての匿名性は保たれます。

募集チラシ（ウラ面）

まちづくり市民会議 参加者の募集について

市では、令和元年度に「第2次古河市総合計画第II期基本計画」策定し、古河市の未来のめざすまちの姿である「華のある都市（まち）古河」の実現に向け、様々な取組を進めてまいりました。本年度で計画期間が終了することから、総合計画第III期基本計画の策定を進めております。つきましては、市民の皆さまのご意見を踏まえた計画とするため、まちづくり市民会議を開催いたしますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

- ◇応募資格 この手紙をお送りした古河市内在住のご本人に限ります。
（※古河市議会議員及び古河市職員は除きます。）
- ◇内 容 グループごとのワークショップ形式
※5～6名程度を1班として、班の中で市の現状や課題について話し合ってください。
※テーマはあらかじめ決めさせていただきます。
- ◇報 酬 ありません。

参加申込み 企画政策部 TEL : 92-3111（内線 2123） FAX : 92-3088
お問い合わせ 企画課 E-mail : kikaku@city.ibaraki-koga.lg.jp

下記①～③のいずれかの方法でご応募ください。

- ◇応募方法① 裏面「まちづくり市民会議 参加申込書」に必要事項を記入し、同封の「アンケート調査」
【郵送】の返信用封筒（切手不要）に 同封の上、5月15日（月）まで（消印有効）に送付してください。
- ◇応募方法② 裏面「まちづくり市民会議 参加申込書」に必要事項を記入し、上記宛先までFAX
【FAX】にて送付してください。
- ◇応募方法③ 裏面「まちづくり市民会議 参加申込書」に記載の事項を入力し、上記宛先までメール
【メール】にて送付してください。
※応募多数の場合は、抽選を行わせていただきます。

<キリトリ線> <キリトリ線>

アンケートへの回答にも御協力をお願いいたします。